

Ⅲ 共同生活介護 ケアホーム清久

平成 25 年度事業計画に基づき、以下のとおり事業を運営しました。

今年度はで 6 ホーム、総定員 26 名で運営しました。

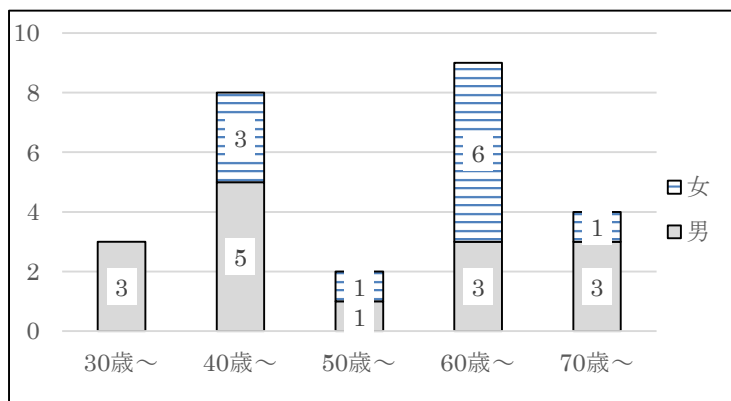
幸手市に開設する計画であったホームは近隣住民の了解が得られず、設置は取り止め、久喜市内にホームの土地の所有者と、設置のための具体策について話し合いをすすめました。

近年、大雪や地震等による自然災害が多く発生し、木造家屋の防災対策を一段と高める必要性があります。とりわけ、木造家屋で老朽化がすすんでいる「こがらい」は、家主との話し合いで改築されることとなり、工事が開始されました(平成 26 年 9 月完成予定)。工事期間中「こがらい」の入居者 4 名は、新たに設置された「上清久」に移り、生活を開始しました。

1 定員の充足

- ・現在の入居者の状況は次の通りです。

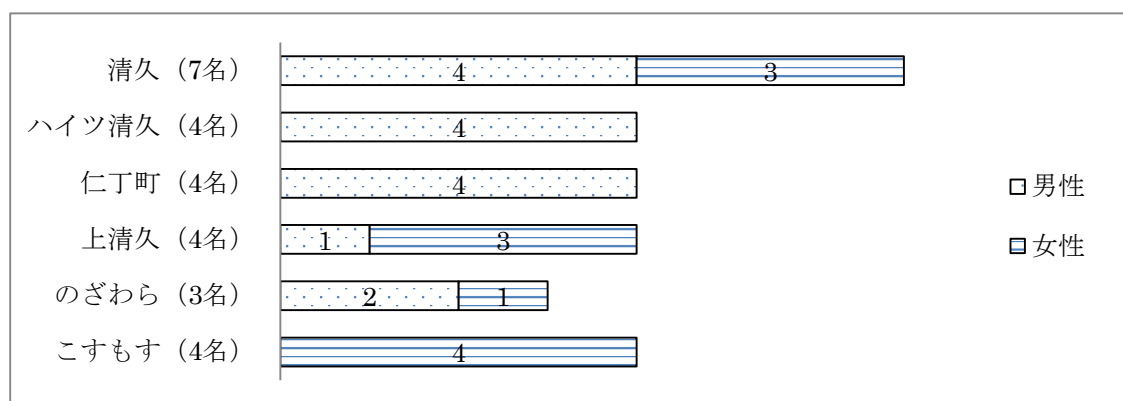
<男女比・年齢構成>



<平均年齢>

| 男性 | 女性 | 全体 |
|--------|--------|--------|
| 15 人 | 11 人 | 26 人 |
| 53.2 歳 | 57.5 歳 | 55.0 歳 |

<定員内訳>



<障害程度区分・総合判定・年金等級>

| | 障害程度区分 | | | | | 総合判定 | | | | 年金等級 | | |
|-------|--------|----|----|----|---|------|----|----|---|------|----|---|
| | 6 | 5 | 4 | 3 | 2 | Ⓐ | A | B | C | 1 | 2 | 未 |
| 清久 | 1 | 1 | 2 | 3 | 0 | 0 | 3 | 2 | 2 | 3 | 3 | 1 |
| ハイツ清久 | 0 | 1 | 1 | 1 | 1 | 0 | 0 | 4 | 0 | 0 | 4 | 0 |
| 仁丁町 | 0 | 0 | 1 | 2 | 1 | 0 | 2 | 2 | 0 | 1 | 3 | 0 |
| 上清久 | 0 | 1 | 2 | 1 | 0 | 0 | 3 | 1 | 0 | 2 | 2 | 0 |
| のぞわら | 1 | 0 | 2 | 0 | 0 | 1 | 0 | 2 | 0 | 1 | 2 | 0 |
| こすもす | 0 | 1 | 2 | 1 | 0 | 1 | 3 | 0 | 0 | 2 | 1 | 1 |
| % | 8 | 15 | 38 | 31 | 8 | 8 | 42 | 42 | 8 | 35 | 57 | 8 |

2 支援体制の整備

- ・入居者の定員増員を視野に入れ、世話人の募集を行ったところ、2名の応募があり、開所まで待機してもらっています。

○支援体制（平成25年3月現在）

| 職 種 | 人 数 | 備 考 |
|-----------|-----|------------------------------|
| 管理者 | 1人 | 正職員 |
| サービス管理責任者 | 1人 | 正職員 |
| 生活支援員 | 5人 | 正職員2名、契約職員1名、契約短時間2名 |
| 世話人 | 12人 | 契約職員2名(久喜けいわ兼務1名)、契約短時間職員10名 |
| 夜間支援従事者 | 17人 | 正職員2名、契約職員1名、契約短時間14名 |

- ・入居者への日常生活の支援や余暇活動の充実が図れるように、世話人と生活支援員がチームを組んで協力支援を行いました。夜間帯や緊急時などは、久喜けいわに協力してもらいました。

3 地域生活者としての自立支援

- ・金銭管理については、自らが計画的にお金を使えるよう出納帳を活用し、日々の買い物等の実践を繰り返し体験することで、収支の流れを理解できるように努めました。予定外のものを購入し、使いすぎてしまうこともあります。失敗することで学ぶことも多く、少しずつ計画通りお金が使えるようになってきています。
- ・「あじさいの会」を定期的に開催しました。入居者のひとりひとりの声を大切に職員は側面的に支援しました。平成25年度の月ごとのテーマは以下の通りです。

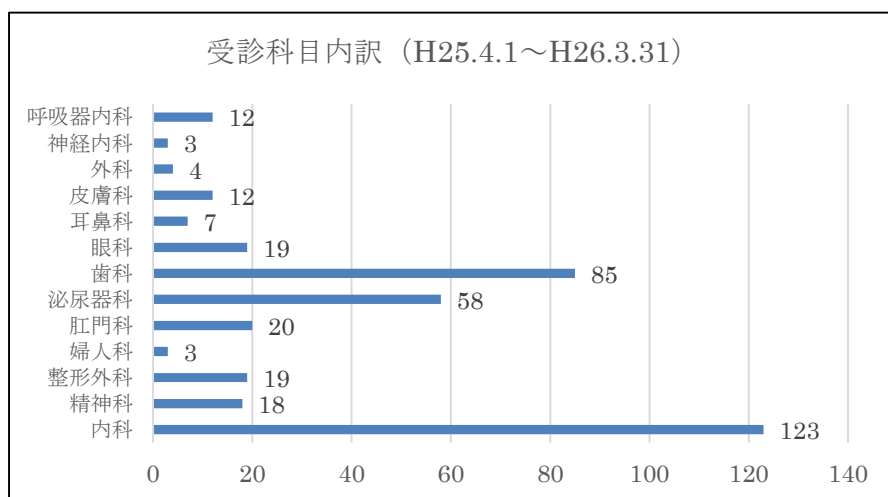
| | | | |
|----|--------------|-----|-------------------|
| 4月 | 総会 | 10月 | 台風の為中止 |
| 5月 | 歯について | 11月 | インフルエンザについて |
| 6月 | 熱中症について | 12月 | 雪の為中止 |
| 7月 | 食中毒について | 1月 | ノロウイルスについて・運動について |
| 8月 | なし | 2月 | 新年会 |
| 9月 | レクリエーションについて | 3月 | 交通安全について |

4 地域社会活動への積極的な参加

- ・地域住民の一員としての役割として、地区の清掃や草むしり、ゴミ当番、きよく大運動会のテント設営、地域行事準備等を手伝いました。
- ・「清久婦人会」に新たに1名の女性入居者が入会し、現在は4名の加入となりました。地域活動や会員との交流会、地域行事の手伝い等に参加しました。
- ・「ふれあいの家 しらはた」を活用し、2ヶ月に1回、地域のボランティアにきてもらい「ものづくり教室」を開催し、手芸などを教えてもらいました。

5 医師、看護師、栄養士と連携した健康管理の充実

- ・年に1回、就労先や啓和会が行う健康診断を受けました。有所見者に対しては、嘱託医に相談し必要に応じて病院に受診しました。日常生活での疾病や怪我について、看護師の指導のもと病院に受診しました。現在の入居者の受診科目と延べ人数は以下の通りです。高齢化に伴い、内科、歯科は勿論ですが、泌尿器科や整形外科の受診が増えてきています。



- ・健康状況の把握は毎日各ホームにて行いました。日頃より、手洗い・うがいを実施し感染予防に努めました。インフルエンザの流行時期にも予防には努めましたが、入居者1名がインフルエンザに感染しました。
- ・啓和会と久喜市歯科医師会が共催した歯科保健事業の歯科検診を入居者が受けました。治療が必要な入居者の数名は、歯科医院に協力してもらい自主通院を行いました。本人だけでは聞き取れない説明や判断を有することについては、職員が同行しました。
- ・生活習慣病の予防として、必要に応じて管理栄養士の作成した献立表にて食事の提供を行いました。また月1回の「こすもす」会議に管理栄養士に参加してもらい、世話人へ食事に関する助言をしてもらい、入居者へのサービス向上に努めました。

6 就労支援の強化

- ・久喜けいわの障害者雇用で洗濯・清掃業務に従事している2名が、継続して働けるように、定期的に話を聞き、不安や悩みの軽減に努めました。毎日休まず意欲的に働いており、収入も安定してきています。
- ・就労支援のジョブコーチと連携し、職場定着のために必要に応じて会社訪問を実施しました。また、再就職を希望する人に対し、職場体験実習をさせてもらい、本人の意識向上に

つなげています。

○就職先一覧

| 会社名 | 仕事内容 | 人数 |
|-----------------|-----------|----|
| (株)なとり | 食品加工・荷物運び | 2人 |
| (株)ウィズウェイストジャパン | リサイクル | 2人 |
| (有)高野産業 | 配送補助 | 1人 |
| 松勘工業(株) | 武道具生産 | 1人 |
| (株)きのえね | 清掃 | 1人 |
| 久喜けいわ | 洗濯・清掃 | 2人 |

7 余暇の充実

- ・地域行事には積極的に参加し、地域の人と交流しながら楽しむことができました。
- ・幼少の頃から絵を描くことを趣味としている男性入居者の作品を、埼玉県障害者アートフェスティバルに応募しました。埼玉会館に展示された作品を見に行き、本人も大変喜んでいました。
- ・入居者の要望を聞き、自主外出の他に、バーベキューや餅つき、新年会等を行いました。新年会では、市内のお店でお酒を飲み、カラオケなどで楽しい時間を過ごしました。
- ・久喜市フレンドシップ学級やみんなの会に参加し、啓和会以外の人との交流ができました。また、マラソンクラブ、音楽クラブに参加し、日頃の練習や大会、発表会を通じ本人のやる気や自信につながりました。

8 関係機関との連携

- ・ホームから単身生活した人が安心して生活できるように、支援センターと協同でサポートしました。現在3名が単身生活を送っていますが、ほんの少し手をかすことで、その人らしく生活できています。
- ・70歳以上の高齢入居者に対してのサービスの利用について、介護保険の利用に関するサービスの情報収集を行いました。当事者の現在のホームでの暮らしを大切にしながら、どんなサービスがあるか聞き取りを行っていきます。

9 家族との関係

- ・サービス内容の説明や手続き等について、職員が家族と連絡をとりあいました。本人からは、手紙や電話などで近況について家族に連絡がとれるように支援しました。
- ・成年後見制度の利用の促進について、家族への説明が十分に行えませんでした。

10 危機管理の徹底

- ・日常的に、入居者には火災の恐ろしさを伝え、火災予防に努めました。
- ・各ホームで危険箇所の点検と老朽箇所のメンテナンスを行い、必要箇所には早急に修繕をしました。大雪の影響で「こがらい」のカーポートが倒壊する被害がありました。
- ・「仁丁町」で消防署立会いの下、消火訓練、通報訓練、避難訓練を行いました。「こがらい」の入居者が久喜第73区の防災訓練に参加し地域の人達と、消火訓練、炊き出し訓練を行い

ました。また、久喜市総合防災訓練にも参加しました。実践を通し、入居者と職員の防災に対する意識を高められるように努力しました。

- 交通安全について、自転車での事故が2件発生しました。1件は、ホームに帰る途中に、T字路で自転車と衝突し、転倒して左肩を骨折する大きな事故になってしまいました。もう1件は、ホームから外出し、交差点で左右の確認をせずに直進したところ、車と衝突し田んぼに落ちる事故でした。幸いにもかすり傷ですみましたが、事故後、すぐに逃げようとしたのを加害者が止め、警察を呼び、本人の身元確認後、ホームに連絡をくれたので大事にはいたりませんでした。

多くの知的障害者は、こういう事に対して意思表示や報告が苦手なので課題となっており、今後の支援に力を入れていきたいと思えます。

- 本人が物品の購入や宗教勧誘などで不利益をこうむらないように、日頃から助言を行っています。

1 1 人材育成

- 世話人、生活支援員は研修に積極的に参加し、日々の支援の見直しやサービスの質の向上に努めました。

○研修実績

| 研修名 | 主催 | 日時 | 場所 | 参加者 |
|-----------------------------------|--------------------------|---------------------|---------------|--------------------------|
| 全国グループホーム・ケアホーム等研修会岡山大会 | 日本知的障害者福祉協会 | 7/11～7/12 | 岡山コンベンションセンター | 高橋(智) |
| 摂食リハビリテーション初級研修 | 埼玉県社会福祉協議会 埼玉県社会福祉事業団 | 7/25 | 埼玉県民活動センター | 前田 |
| 中堅職員研修会 | 埼玉県発達障害福祉協会 | 10/8 | すこやかプラザ | 高橋(智) |
| 第1回ホーム職員研修 | 埼玉県発達障害福祉協会 | 11/7 | すこやかプラザ | 高瀬、小林、長谷川 瀬崎、浅野、太田、岡部 |
| 施設見学会 | 埼玉県発達障害福祉協会 | 11/28 | (社福)清心会 | 小林 |
| 第2回ホーム職員研修 | 埼玉県発達障害福祉協会 | 1/15 | すこやかプラザ | 高瀬、高橋(智) 前田、高橋(俊)、藤井 |
| 障害者アート企画展 埼玉県アートマネージメントワークショップ | 埼玉県障害者アートフェスティバル実行委員会 | 6/25～2/24 (全13回) | 埼玉会館他 | 齋藤(暁) |

1 2 広報活動

- 地域行事や催し物に積極的に参加し、地域やボランティアに啓発広報活動を行いました。
- 世話人の募集活動で、地域の関係者にチラシを配りました。

重点項目の達成状況

1 新たなホームの開設と新入居者の受け入れ準備

- 将来ホームでの生活を希望する在宅の利用者へ、ホームの説明を行いました。また、見学

や体験利用を受け入れました。今後も準備については継続して行っていきます。

2 法人と連携し、新たなグループホームの設置の開拓

- ・圏域内で新たなホームの設置を検討中です。

3 防災体制の強化

- ・ホームで消火訓練、通報訓練、避難訓練を行い、地域での行事、地区の防災訓練等に積極的に参加しました。各ホームで顔を覚えてもらえるように、日頃から近所付き合いを大切にしました。

4 高齢者及び医療的ケアが必要とされる入居者に対し、健康管理及び生活の質に重点を置いた支援

- ・入居者の健康を知るために、日々のバイタルチェックを継続しました。病気などの早期発見ができ、すぐに対応することができました。また、暮らしの中で身体を動かすことについて本人と話し合いで決め、通勤や近隣の外出は徒歩にしたり、室内での軽い運動や市内のフィットネスに定期的に通うなど運動する機会を増やしました。高脂血症や肥満の入居者には良い結果がでています。